

環境委員会

委員一覧 (21名)

委員長	三原じゅん子 (自民)	石井	準一 (自民)	竹谷	とし子 (公明)
理事	梶原 大介 (自民)	加田	裕之 (自民)	谷合	正明 (公明)
理事	長谷川 英晴 (自民)	佐藤	信秋 (自民)	梅村	みずほ (維教)
理事	田島 麻衣子 (立憲)	関口	昌一 (自民)	浜野	喜史 (民主)
理事	串田 誠一 (維教)	滝沢	求 (自民)	山本	太郎 (れ新)
理事	山下 芳生 (共産)	川田	龍平 (立憲)	世耕	弘成 (無)
	朝日 健太郎 (自民)	水岡	俊一 (立憲)	ながえ	孝子 (無)
					(会期終了日 現在)

(1) 審議概観

第213回国会において、本委員会に付託された法律案は、内閣提出3件であり、いずれも可決した。

また、本委員会付託の請願2種類24件は、いずれも保留とした。

〔法律案の審査〕

地域における生物の多様性の増進のための活動の促進等に関する法律案は、昆明・モントリオール生物多様性枠組の採択を踏まえ、生物の多様性の損失が続いている状況を改善するため、事業者等による地域生物多様性増進活動の実施に関する計画の認定、当該認定を受けた者に対する自然公園法等の規制の特例等の措置を講じようとするものである。

委員会においては、現行の自然共生サイトと本法律案に基づく制度との違い、独立行政法人に認定事務の一部を行わせる理由、事業者等へのインセンティブの在り方等について質疑が行われ、採決の結果、多数をもって原案どおり可決された。なお、本法律案に対して、附帯決議を行った。

資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する法律案は、温室効果ガスの排出削減効果が高い資源循環を促進するため、再資源化事業等の高度化に係る認定制度の創設及び当該認定を受けた者に対する廃棄物処理法の特例、特定産業廃棄物処分業者の再資源化の実施状況の報告及び公表等の措置を講じようとするものである。

委員会においては、参考人から意見を聴取するとともに、再生材の利用拡大策、廃棄物処分業者への支援の在り方、資源循環の促進に向けた国民の意識改革の必要性等について質疑が行われ、採決の結果、多数をもって原案どおり可決された。なお、本法律案に対して、附帯決議を行った。

地球温暖化対策の推進に関する法律の一部を改正する法律案は、パリ協定に基づく我が国の温室効果ガス削減目標の確実な達成を図るため、二国間クレジット制度の実施体制を強化するための規定を整備するほか、地域脱炭素化促進事業制度の拡充等の措置を講じようとするものである。

委員会においては、参考人から意見を聴取するとともに、二国間クレジット制度の意義とその課題、地域における脱炭素化の取組の在り方等について質疑が行われ、討論の後、多数をもって原案どおり可決された。なお、本法律案に対して、附帯決議を行った。

〔国政調査等〕

3月12日、環境行政等の基本施策に関する件について伊藤国務大臣から所信を聴くとともに、令和6年度環境省予算及び環境保全経費の概要に関する件について八木環境副大臣から、公害等調整委員会の業務等に関する件について永野公害等調整委員会委員長から、原子力規制委員会の業務に関する件について山中原子力規制委員会委員長からそれぞれ説明を聴いた。

3月21日、環境行政等の基本施策に関する件、公害等調整委員会の業務等に関する件及び原子力規制委員会の業務に関する件について調査を行い、第6次環境基本計画に「ウェルビーイング／高い生活の質」の実現を盛り込む意義、東日本大震災被災者のふるさとへの帰還の実現に向けた環境省の取組の方途、クマ類の指定管理鳥獣への早期追加に向けて環境大臣がリーダーシップを発揮する必要性、使用済紙おむつの再生利用等に向けた環境省の今後の取組と地方公共団体への支援の在り方、災害時のし尿処理に有効なトイレトレーラーを全国的に導入するための環境省による支援内容、自動販売機横のリサイクルボックスへの異物混入防止に関する実証事業の狙い及び新機能の効果についての環境大臣の見解、現在規制の対象外となっているPFASについても企業の管理状況の調査を行い不適正管理については改善措置を採る必要性、原子力災害時の避難退域時（スクリーニング）検査について高い信頼性を確保することの重要性、環境アセスメントについて早い段階で地域住民への説明会や対審的な討論ができるよう制度改正する必要性等について質疑を行った。

3月22日、予算委員会から委嘱された令和6年度一般会計予算、同特別会計予算、同政府関係機関予算（総務省所管（公害等調整委員会）及び環境省所管）について審査を行い、特定外来生物ナガエツルノゲイトウの安価かつ効率的・効果的な防除手法の開発・確立の必要性、PFASに係る令和5年度補正予算及び令和6年度当初予算の全体像、次期ND C策定に向けた議論において国の気候変動対策をけん引していく環境大臣の決意、日本気候リーダーズ・パートナーシップによる「G7札幌気候・エネルギー・環境大臣会合及び広島サミットに向けた意見書」に対する環境大臣の見解、予算審議における令和6年度環境保全経費一覧の動物愛護管理関連経費の表示の妥当性、高速道路等における環境性能の高いコンクリート舗装の推進がCO₂排出量の削減に大きく貢献するとの考えに対する環境大臣の見解、被災家屋の公費解体における家財等の搬出に関する国の見解を分かりやすく被災地方公共団体等に周知する必要性、川ごみの回収・処理を海岸漂着物等地域対策推進事業の補助対象とする必要性等について質疑を行った。

4月9日、福島県内での除去土壌の再生利用に係る実証事業で必要な科学的知見が集積できているにもかかわらず県外において実証事業を行う理由、優良事例の提供等により地方公共団体におけるペットの災害対策に係る平時からの備えを促進する必要性、食品ロス問題に係る関係府省の連携の必要性、再エネに係る規制の在り方の検討の場を規制改革推

進会議のワーキンググループとしなかった理由、これまでの気候モデルでは説明できない気温上昇が起こっていることに対する環境大臣の見解、米軍航空機による学校周辺の騒音が100デシベルを超える状況に対する環境大臣の所感、ごみを燃やさないことを前提とした資源循環の取組の促進に向けた環境大臣の決意等について質疑を行った。

4月23日、レジ袋有料化に関する政策評価を実施する必要性、持続可能な航空燃料S A Fの原料となる廃食用油回収の適正確保のため関係業者による連絡協議会を設置する必要性、地熱を鉱業法の対象とし権利義務を明確化することにより開発を進めやすくする必要性、紙パルプ・紙加工産業における脱炭素化の取組状況に対する環境大臣の見解、環境省の「PFOS及びPFOAに関する対応の手引き」に従い排出源特定のための調査及び必要な措置を実施する必要性、被災地の実情を踏まえた携帯トイレの支援を実施する必要性、ブルーボンドに係るガイドラインの策定状況及び地方公共団体への支援策、瀬戸内海の栄養塩類管理に向けた環境省による支援の必要性等について質疑を行った。

5月23日、水俣病問題等に関する件について調査を行い、環境大臣の水俣市再訪問及び水俣病関係団体への謝罪後の具体的対応、環境省が考える水俣病の最終的解決の在り方、水俣病の事実を伝えていくため被害者等が保有する民間資料を公的に収集・保存していく必要性、水俣病関係団体との懇談の場の議事録等を国民に広報する必要性、水俣病問題をめぐる反省を踏まえた今後の取組方針、水俣病問題に対する国・県の初動の状況及び訴訟における原告による因果関係証明の難易度、我が国の2022年度温室効果ガス排出量の減少に関する要因分析がいまだに行われていない理由、環境大臣のイニシアティブで水俣病の全面解決につながる制度の見直しや構築を早期に実施する必要性、水俣病被害者について「疑わしきは救済」していくことの重要性、水俣病担当審議官及び水俣病タスクフォースを設置した目的の妥当性等について質疑を行った。

6月4日、民間企業による静脈物流の取組に対する環境大臣の所感、人工芝由来のマイクロプラスチック及びプラスチック製漁具の流出抑制対策、廃棄物処理業における適正な価格転嫁のため廃棄物処理法に基づく委託料の基準等を見直す必要性、飼い主と連絡が取れない場合の動物の緊急一時保護の在り方、印刷産業の脱炭素化の取組の認知度向上に官民一体で取り組む必要性、大阪・関西万博会場予定地でのメタンガス爆発事故の責任の所在及びこれまでのメタンガス対策の妥当性、被災建物の公費解体の迅速な実施に向けた国の取組強化の必要性、熱中症対策に取り組む地方公共団体への国の財政支援の必要性等について質疑を行った。

(2) 委員会経過

○令和6年3月12日(火) (第1回)

- 理事の補欠選任を行った。
- 環境及び公害問題に関する調査を行うことを決定した。
- 環境行政等の基本施策に関する件について伊藤国務大臣から所信を聴いた。
- 令和6年度環境省予算及び環境保全経費の概要に関する件について八木環境副大臣から説明を聴いた。

- 公害等調整委員会の業務等に関する件について永野公害等調整委員会委員長から説明を聴いた。
- 原子力規制委員会の業務に関する件について山中原子力規制委員会委員長から説明を聴いた。

○令和6年3月21日(木) (第2回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 環境行政等の基本施策に関する件、公害等調整委員会の業務等に関する件及び原子力規制委員会の業務に関する件について伊藤国務大臣、岩田経済産業副大臣、国定環境大臣政務官、船橋総務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

梶原大介君(自民)、長谷川英晴君(自民)、水岡俊一君(立憲)、竹谷とし子君(公明)、梅村みずほ君(維教)、浜野喜史君(民主)、山下芳生君(共産)、山本太郎君(れ新)、ながえ孝子君(無)

○令和6年3月22日(金) (第3回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 令和6年度一般会計予算(衆議院送付)
- 令和6年度特別会計予算(衆議院送付)
- 令和6年度政府関係機関予算(衆議院送付)

(総務省所管(公害等調整委員会)及び環境省所管)について伊藤環境大臣、滝沢環境副大臣、武村農林水産副大臣、山中原子力規制委員会委員長及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

加田裕之君(自民)、川田龍平君(立憲)、谷合正明君(公明)、山下芳生君(共産)、串田誠一君(維教)、浜野喜史君(民主)、山本太郎君(れ新)、ながえ孝子君(無)

本委員会における委嘱審査は終了した。

○令和6年4月9日(火) (第4回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 福島県外における除去土壌の再生利用に係る実証事業に関する件、災害時のペット同行避難に係る対策に関する件、食品ロス問題における関係府省の連携に関する件、再生可能エネルギー等に関する規制等の総点検タスクフォースに関する件、過去に例のない気候危機への認識と対策に関する件、学校近辺における騒音問題に関する件、焼却以外のごみ処理方式の普及に関する件等について伊藤環境大臣、あべ文部科学副大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

川田龍平君(立憲)、竹谷とし子君(公明)、串田誠一君(維教)、浜野喜史君(民主)、山下芳生君(共産)、山本太郎君(れ新)、ながえ孝子君(無)

- 地域における生物の多様性の増進のための活動の促進等に関する法律案(閣法第43号)(衆議院送付)について伊藤環境大臣から趣旨説明を聴いた。

○令和6年4月11日(木) (第5回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 地域における生物の多様性の増進のための活動の促進等に関する法律案(閣法第43号)(衆議院送付)について伊藤環境大臣、八木環境副大臣、朝日環境大臣政務官、こやり国土交通大臣政務官、高橋農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った後、可決した。

〔質疑者〕

梶原大介君(自民)、田島麻衣子君(立憲)、谷合正明君(公明)、梅村みずほ君(維教)、浜野喜史君(民主)、山下芳生君(共産)、山本太郎君(れ新)、ながえ孝子君(無)

(閣法第43号)

賛成会派 自民、立憲、公明、維教、民主、共産、無（世耕弘成君、ながえ孝子君）

反対会派 れ新

なお、附帯決議を行った。

○令和6年4月23日(火) (第6回)

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○レジ袋有料化の問題に関する件、持続可能な航空燃料SAFへの廃食用油の利用に関する件、地熱発電の開発促進策の在り方に関する件、紙パルプ・紙加工産業における脱炭素化に関する件、PFOS及びPFOAによる環境汚染に関する件、被災地における災害用トイレの支援の在り方に関する件、ブルーボンドの活用促進に関する件、瀬戸内海における栄養塩類の管理に関する件等について伊藤環境大臣、上月経済産業副大臣、高橋農林水産大臣政務官、平沼内閣府大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

田島麻衣子君（立憲）、谷合正明君（公明）、梅村みずほ君（維教）、浜野喜史君（民主）、山下芳生君（共産）、山本太郎君（れ新）、ながえ孝子君（無）、加田裕之君（自民）

○資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する法律案（閣法第60号）（衆議院送付）について伊藤環境大臣から趣旨説明を聴いた。

また、同法律案について参考人の出席を求めることを決定した。

○令和6年5月7日(火) (第7回)

○理事の補欠選任を行った。

○脱炭素成長型経済構造への円滑な移行のための低炭素水素等の供給及び利用の促進に関する法律案（閣法第16号）（衆議院送付）及び二酸化炭素の貯留事業に関する法律案（閣法第17号）（衆議院送付）について経済産業委員会に連合審査会の開会を申し入れることを決定した。

○資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する法律案（閣法第60号）（衆議院送付）について次の参考人から意見を聴いた後、各参考人に対し質疑を行った。

[参考人]

一般社団法人日本環境保全協会副会長
加藤商事株式会社代表取締役 加藤宣行君
同志社大学経済学部准教授 原田禎夫君
上智大学法学部教授 北村喜宣君

[質疑者]

長谷川英晴君（自民）、田島麻衣子君（立憲）、竹谷とし子君（公明）、串田誠一君（維教）、浜野喜史君（民主）、山下芳生君（共産）、山本太郎君（れ新）、ながえ孝子君（無）

○令和6年5月9日(木) (第8回)

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する法律案（閣法第60号）（衆議院送付）について伊藤環境大臣、中野法務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局した。

[質疑者]

長谷川英晴君（自民）、川田龍平君（立憲）、竹谷とし子君（公明）、梅村みずほ君（維教）、浜野喜史君（民主）、山下芳生君（共産）、山本太郎君（れ新）、ながえ孝子君（無）

○令和6年5月14日(火)

経済産業委員会、環境委員会連合審査会（第1回）

（経済産業委員会を参照）

○令和6年5月21日（火）（第9回）

- 理事の補欠選任を行った。
- 資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する法律案（閣法第60号）（衆議院送付）を可決した。

（閣法第60号）

賛成会派 自民、立憲、公明、維教、民主、共産、無（世耕弘成君、ながえ孝子君）

反対会派 れ新

なお、附帯決議を行った。

○令和6年5月23日（木）（第10回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 水俣病問題等に関する件について伊藤環境大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

加田裕之君（自民）、田島麻衣子君（立憲）、川田龍平君（立憲）、谷合正明君（公明）、梅村みずほ君（維教）、串田誠一君（維教）、浜野喜史君（民主）、山下芳生君（共産）、山本太郎君（れ新）、ながえ孝子君（無）

○令和6年6月4日（火）（第11回）

- 理事の補欠選任を行った。
- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 民間企業による静脈物流の取組に関する件、マイクロプラスチックの自然界への流出抑制策に関する件、廃棄物処理業における賃金水準等に関する件、動物愛護管理の取組に関する件、印刷産業の脱炭素化に関する件、大阪・関西万博会場予定地の安全性に関する件、令和6年能登半島地震における被災建物の公費解体に関する件、熱中症対策の強化に関する件等について伊藤環境大臣、国定環境大臣政務官、安江文部科学大臣政務官、朝日環境大臣政務官、平沼内閣府大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

長谷川英晴君（自民）、川田龍平君（立憲）、竹谷とし子君（公明）、串田誠一君（維教）、浜野喜史君（民主）、山下芳生君（共産）、山本太郎君（れ新）、ながえ孝子君（無）

- 地球温暖化対策の推進に関する法律の一部を改正する法律案（閣法第42号）（衆議院送付）について伊藤環境大臣から趣旨説明を聴いた。

また、同法律案について参考人の出席を求めることを決定した。

○令和6年6月6日（木）（第12回）

- 地球温暖化対策の推進に関する法律の一部を改正する法律案（閣法第42号）（衆議院送付）について次の参考人から意見を聴いた後、各参考人に対し質疑を行った。

〔参考人〕

東京大学未来ビジョン研究センター教授 高村ゆかり君

公益財団法人世界自然保護基金ジャパン自然保護室長 山岸尚之君

認定NPO法人FoE Japan事務局次長 深草亜悠美君

〔質疑者〕

加田裕之君（自民）、田島麻衣子君（立憲）、竹谷とし子君（公明）、梅村みずほ君（維教）、

浜野喜史君（民主）、山下芳生君（共産）、山本太郎君（れ新）、ながえ孝子君（無）

○令和6年6月11日（火）（第13回）

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○地球温暖化対策の推進に関する法律の一部を改正する法律案（閣法第42号）（衆議院送付）について伊藤環境大臣、滝沢環境副大臣、八木環境副大臣、工藤内閣府副大臣、舞立農林水産大臣政務官、朝日環境大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、討論の後、可決した。

〔質疑者〕

加田裕之君（自民）、水岡俊一君（立憲）、竹谷とし子君（公明）、串田誠一君（維教）、浜野喜史君（民主）、山下芳生君（共産）、山本太郎君（れ新）、ながえ孝子君（無）

（閣法第42号）

賛成会派 自民、立憲、公明、維教、民主、無（世耕弘成君、ながえ孝子君）

反対会派 共産、れ新

なお、附帯決議を行った。

○令和6年6月21日（金）（第14回）

○理事の補欠選任を行った。

○請願第343号外23件を審査した。

○環境及び公害問題に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。

○閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。